

## 講義

- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）
- 担当教官の連絡先：(研究室) 伊都キャンパス数理学研究教育棟 417 号室  
(電話) 802-4464 (電子メール) tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
- 教科書：「複素関数論」クライツィグ 著 (培風館)
- 講義についての情報を集めたウェブページを

<http://user.math.kyushu-u.ac.jp/index.php?tsujii>

から「講義について」⇒「2010 年度」⇒「数学 2B」とたどった所におく、講義の進行や宿題、講義中に配布したプリントについて順次情報を入れるので、講義を休んだときなどに参考にする事、(講義プリントや小テストの問題と解答を掲載します.)

- 教科書, ノート, 計算用紙と筆記具.
- 講義内容：数学 1 B で学んだ複素関数論の基礎に、より発展的な内容 (調和関数や等角写像の理論) について講義する。講義中に注意するが、教科書ではそれ以外がいくつかの部分に分けて収録されているため、講義との関係が多少複雑になる。
- 3 回目以降の講義の最初に 15 分ほどで小テストをする。小テストは原則として採点して次週に返却する。答案の回収と返却を円滑に行うために次のようにする。
  - － 座席を固定する。(2 回目以降の講義は同じ席に座ること.)
  - － 小テストの最中に封筒を列ごとに左の席からまわすので採点された自分の答案を受け取る。
  - － 一番右側の座席の人は答案を取り出した封筒を持っておく。
  - － 小テストが終わったら一番右側の人から順に答案をその封筒に入れてまわし、一番左の席の人が私に答案の入った封筒を渡す。

小テストは成績に関係あるテストなので教科書とノートはテスト時間中はしまう。点数はつけるがかなりの部分は出席点。小テストの問題は (数値はかえて) 期末テストにも出すので小テストで間違えたところはチェックしておくこと。

- 評価は「小テスト 50% + 期末テスト 50%」(割合について多少の変更はあり得る) 100 点満点に換算して 60 点で合格。難しい問題は出さない。講義をよく聞いて教科書の練習問題をやり、小テストで理解をチェックすれば十分。特別な事情がない限り追試は行わない。
- 授業の欠席・遅刻については 2 回までは成績に影響しないようにする。(小テストの点数は悪い方 (または欠席) の 2 回を除いて計算する。) 事情があって 3 回以上欠席する場合のみ、私に連絡してください。